

令和 9 年度
(2027年度)

入 学 者 選 拔 要 項



三 条 市 立 大 学
SANJO CITY UNIVERSITY

目 次

I	大学の基本理念、アドミッション・ポリシー	1
II	令和9年度（2027年度）入学者選抜概要	2
III	一般選抜	3
IV	学校推薦型選抜	6
V	総合型選抜	9
VI	特別選抜（社会人選抜）	12
VII	特別選抜（私費外国人留学生選抜）	14
VIII	その他	16
IX	令和8年度入学者選抜結果	18
X	令和8年度一般選抜出題問題	20
	アクセスマップ・問い合わせ	巻末



I 大学の基本理念、アドミッション・ポリシー

1 大学の基本理念

If you want a new idea, read an old book.

～ 新たな発想を生み出す鍵は、蓄積された経験の中に ～

多様な加工技術が集積するこの地では、社会ニーズを的確に捉え、各種資源等に基づく戦略的な計画の上で“もの”を製造・販売する“ものづくり”により、様々な知識や技術、経験を蓄積してきました。その蓄積された財産の中には、新たな展開を創造する種となるものが存在するのです。

本学は、地域全体をキャンパスとして、この地に蓄積された財産から学び、多様な技術・マネジメント教育も合わせて行い、それらの要素を融合して新たな「価値」を創造できる人材「イノベティブテクノロジスト」を育成します。

そして、企業の財産となり得る人材を輩出することで個々の企業価値を高めるとともに、この地のものづくりの持続的発展に貢献していきます。

2 アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本学の基本理念に共感し、ものづくり産業及び地域社会の発展に貢献しようとする意欲があり、次の能力や資質を有する者の入学を期待する。

- 1 ものづくりに興味を持ち、工学部での基礎学理の教育を受けるのに十分な能力を有している人
- 2 他者の考えを正しく理解し、自分の意見や主張を分かりやすく表現できる能力を有している人
- 3 工学技術や理論の修得に主体的に取り組む強い探究心を備えた人

Ⅱ 令和9年度(2027年度)入学者選抜概要

1 入学定員・募集人員

学部 学科名	入学定員	募集人員											
		一般選抜				総合型 選抜	学校推薦型選抜			特別選抜			
		前期日程		中期日程			市内 推薦	県内 推薦	工業系 推薦	社会人 選抜	私費外国人 留学生選抜		
工学部 技術・経営工 学科	120人	A 区分	B 区分	A 区分	B 区分	2人						4人	6人
		48人		30人		30人						12人	

※一般選抜のA・B区分の募集人員は、おおむねの人数です。

※学校推薦型選抜の各選抜区分の募集人員は、おおむねの人数です。

※社会人選抜及び私費外国人留学生選抜の募集人員は、一般選抜前期日程の募集人員に含みます。

2 選抜日程

選抜区分		出願受付期間	試験期日	合格発表日	入学手続期間
一般選抜	前期日程	令和9年 1月25日(月)～	令和9年2月25日(木)	令和9年3月4日(木)	令和9年3月5日(金)～ 3月15日(月)
	中期日程	2月3日(水)	令和9年3月8日(月)	令和9年3月20日(土)	令和9年3月21日(日)～ 3月27日(土)
総合型選抜		令和8年 9月1日(火)～ 9月7日(月)	令和8年10月10(土)・ 11日(日) 2日間 ※出願者が募集人員の1.5倍を超えた場合、書類審査により第1段階選抜を行うことがあります。	令和8年11月2日(月) 〔※第1段階選抜の合格発表 令和8年9月18日(金)〕	令和8年11月3日(火)～ 11月13日(金)
学校推薦型選抜		令和8年	令和8年11月21日(土)	令和8年12月1日(火)	令和8年12月2日(水)～ 12月10日(木)
社会人選抜		11月4日(水)～			
私費外国人留学生選抜		11月11日(水)			

3 出願方法

インターネット出願サイトで出願登録後に必要書類を郵送又は持参により提出してください。
詳細は各学生募集要項で確認してください。

Ⅲ 一般選抜

分離分割方式により「前期日程」及び「中期日程」に分けて実施します。なお、「前期日程」と「中期日程」は併願することができます。

1 募集人員

日程	募集人員		各区分計	各日程計
	A区分	B区分		
前期日程	24人	24人	48人	78人
中期日程	15人	15人	30人	

※一般選抜のA・B区分の募集人員は、おおむねの人数です。

2 選抜日程

日程	出願受付期間	試験期日	合格発表日
前期日程	令和9年 1月25日(月)～2月3日(水)	令和9年2月25日(木)	令和9年3月4日(木)
中期日程		令和9年3月8日(月)	令和9年3月20日(土)

3 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ令和9年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストにおいて、本学が指定する教科・科目を受験した者。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる下記の①～④に該当する者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ①外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
 - ③専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
 - ④高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和9年3月31日までに合格者となる見込みの者
- (4) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和9年3月31日までに18歳に達する者

4 選抜方法

入学者の選抜は大学入学共通テスト及び本学が実施する教科・科目に係る個別テストの成績を総合的に判定して行います。

5 試験内容・配点【前期日程・中期日程共通】

前期日程及び中期日程ともにA区分（大学入学共通テストの配点比率が高い）とB区分（教科・科目に係る個別テストの配点比率が高い）を選択します。

(1) 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストの教科・科目

大学入学共通テスト（5教科7科目）		教科・科目に係る個別テスト	
教科	科目	教科	科目
国語	『国語』（古文・漢文を含む）	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学A、数学B、数学C
数学	『数学Ⅰ、数学A』と 『数学Ⅱ、数学B、数学C』の2科目	理科	物理基礎、物理
理科	『物理』『化学』『生物』『地学』から 2科目選択		
外国語	『英語』（リーディング及びリスニング）		
地歴・ 公民	『地総、地探』『歴総、日探』 『歴総、世探』『地総／歴総／公』 『公、倫』『公、政・経』	いずれか1教科1科目を選択。 なお、地歴・公民において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。	
情報	『情報Ⅰ』		

(2) 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストの配点（単位：点）

A区分

大学入学共通テスト					教科・科目に係る個別テスト		合計
国語	数学	理科	外国語	情報/地歴・公民	数学	理科	
100	125	125	100	50	100	100	
500					200		700

B区分

大学入学共通テスト					教科・科目に係る個別テスト		合計
国語	数学	理科	外国語	情報/地歴・公民	数学	理科	
40	50	50	40	20	250	250	
200					500		700

6 試験場

三条市立大学及び学外試験場（前期日程、中期日程共通）

※学外試験場は北海道（札幌市）、東京都（23区内）、愛知県（名古屋市）、大阪府（大阪市）、福岡県（福岡市）に設置します。試験場の詳細については一般選抜学生募集要項に記載します。

Ⅳ 学校推薦型選抜

市内推薦と県内推薦及び工業系推薦の3つの区分で以下のとおり実施します。

1 募集人員

選抜区分	募集人員	募集人員の目安
市内推薦	12人	2人程度
県内推薦		4人程度
工業系推薦		6人程度

※工業系推薦は全国枠となります。

2 選抜日程

出願受付期間	試験期日	合格発表日
令和8年 11月4日(水)～11月11日(水)	令和8年11月21日(土)	令和8年12月1日(火)

3 出願資格

次の（１）から（３）のすべてに該当する者。

（１）次の①、②、③のいずれかに該当する者

① 市内推薦：次の（ア）、（イ）又は（ウ）である者

（ア）三条市内に所在する高等学校を令和９年３月31日までに卒業する見込みの者

（イ）三条市以外の高等学校又は中等教育学校を令和９年３月31日までに卒業する見込みの者で、その本人、配偶者又は１親等の親族のいずれかが令和８年４月１日から引き続き三条市に住民登録されている者

（ウ）（ア）又は（イ）に掲げる者に準ずる者として学長が認める者

② 県内推薦：次の（ア）、（イ）又は（ウ）である者

（ア）新潟県内に所在する高等学校又は中等教育学校を令和９年３月31日までに卒業する見込みの者

（イ）新潟県以外の高等学校又は中等教育学校を令和９年３月31日までに卒業する見込みの者で、その本人、配偶者又は１親等の親族のいずれかが令和８年４月１日から引き続き新潟県内の市町村に住民登録されている者

（ウ）（ア）又は（イ）に掲げる者に準ずる者として学長が認める者

③ 工業系推薦

工業高等学校等を令和９年３月31日までに卒業する見込みであり、工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む）した者

（２）人物、学業成績ともに優秀で、かつ、健康であり、学校長が責任を持って推薦できる者

（３）合格した場合には、入学することを確約できる者

※評定平均値は不問です。

4 推薦人数

各学校から推薦できる人数に制限はありません。

5 選抜方法

書類審査（調査書等）、口頭試問及び面接の成績を総合的に判定して行います。

6 試験内容・配点

(1) 試験内容

口頭試問及び面接

口頭試問では、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B）及び理科（物理基礎）についての能力を評価し、面接では、論理的思考力、質疑応答の内容や態度等を総合的に評価します。

(2) 配点（単位：点）

書類審査（調査書等）	口頭試問及び面接	合 計
100	200	300

7 試験場

三条市立大学

8 入学前教育について

合格後、入学前教育の一環として令和9年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストで以下の教科・科目を課します（※得点は不問）。なお、大学入学共通テストの成績上位者は本学独自の給付型奨学金の受給対象となります。（P17参照）

大学入学共通テスト（5教科7科目）	
教科	科目
国 語	『国語』（古文・漢文を含む）
数 学	『数学Ⅰ，数学A』と 『数学Ⅱ，数学B，数学C』の2科目
理 科	『物理』『化学』『生物』『地学』から2科目選択
外国語	『英語』（リーディング及びリスニング）
地 歴 ・ 公 民	『地総，地探』『歴総，日探』 『歴総，世探』『地総／歴総／公』 『公，倫』『公，政・経』
情 報	『情報Ⅰ』

いずれか1教科1科目を選択。
なお、地歴・公民において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。

V 総合型選抜「探究ワークショップ型選抜」

グループワークやプレゼンテーションなどを中心に、受験生の能力や適性、学習に対する意欲を総合的に評価する選抜を以下のとおり実施します。

1 募集人員

30人

2 選抜日程

出願受付期間	試験期日	合格発表日
令和8年 9月1日(火)～9月7日(月)	令和8年 10月10日(土)～10月11日(日)	令和8年11月2日(月)

※出願者が募集人員の1.5倍を超えた場合、書類審査により第1段階選抜を行うことがあります。
第1段階選抜の合格発表は令和8年9月18日（金）に行います。

3 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、本学の実施するオープンキャンパス又は本学が参加する進学ガイダンスや本学が発行する大学案内等で本学のカリキュラムを理解しており、令和9年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストにおいて、本学が指定する教科・科目を入学前教育の一環として受験できる者。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる下記の①～④に該当する者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ①外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
 - ③専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
 - ④高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和9年3月31日までに合格者となる見込みの者
- (4) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和9年3月31日までに18歳に達する者

4 選抜方法

事前課題型プレゼンテーション、当日課題型グループワーク、小論文の成績を総合的に判定して行います。

5 試験内容・配点

(1) 試験内容

事前課題型プレゼンテーション、当日課題型グループワーク、小論文

(2) 配点（単位：点）

試験内容	配点	合計
事前課題型プレゼンテーション	70	200
当日課題型グループワーク	100	
小論文	30	

6 宿泊について

総合型選抜は1泊2日で実施します。そのために必要な宿泊の手配は本学にて行います。
選抜のおおよそのスケジュールは以下のとおりです。

選抜1日目（11:00～18:00）			（18:30～22:00）	選抜2日目（9:00～12:00）	
事前課題型 プレゼン テーション	イントロ ダクション （大学説明）	当日課題型 グループ ワーク	夕食・自由時間・ 就寝	グループワーク 発表	小論文

7 試験場

三条市立大学

8 入学前教育

合格後、入学前教育の一環として令和9年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストで以下の教科・科目を課します（※得点は不問）。なお、大学入学共通テストの成績上位者は本学独自の給付型奨学金の受給対象となります。（P17参照）

大学入学共通テスト（5教科7科目）	
教科	科目
国語	『国語』（古文・漢文を含む）
数学	『数学Ⅰ，数学A』と 『数学Ⅱ，数学B，数学C』の2科目
理科	『物理』『化学』『生物』『地学』から2科目選択
外国語	『英語』（リーディング及びリスニング）
地歴・公民	『地総，地探』『歴総，日探』 『歴総，世探』『地総／歴総／公』 『公，倫』『公，政・経』
情報	『情報Ⅰ』

いずれか1教科1科目を選択。
なお、地歴・公民において、2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。

Ⅵ 特別選抜(社会人選抜)

年齢要件及び社会人としての実務経験を満たす者を対象に以下のとおり実施します。

1 募集人員

若干人

2 選抜日程

出願受付期間	試験期日	合格発表日
令和 8 年 11月 4 日(水)～11月11日(水)	令和 8 年11月21日 (土)	令和 8 年12月 1 日 (火)

3 出願資格

令和 9 年 3 月31日現在において満23歳に達し、社会人としての実務経験を通算して 3 年以上有する者で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及びこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (6) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第4号の規定により文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※社会人経験には、夜間、定時制、通信制以外の学校（大学、短期大学、専門学校、予備校等）に在籍していた期間は含めない。

4 選抜方法

書類審査、小論文及び面接の成績を総合的に判定して行います。

5 試験内容・配点

(1) 試験内容

小論文及び面接

(2) 配点 (単位：点)

書類審査	小論文	面 接	合 計
100	100	100	300

6 試験場

三条市立大学

VII 特別選抜(私費外国人留学生選抜)

日本の国籍を有さない者を対象に以下のとおり実施します。

1 募集人員

若干人

2 選抜日程

出願受付期間	試験期日	合格発表日
令和 8 年 11月 4 日(水)～11月11日(水)	令和 8 年11月21日 (土)	令和 8 年12月 1 日 (火)

3 出願資格

次の各号のすべてに該当する者。

(1) 日本の国籍を有しない者

(注) 日本の高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者(卒業見込みの者を含む。)及び日本永住許可を得ている者は、本選抜に出願することはできない

(2) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格「留学」(又は在日のまま「留学」へ変更できる在留資格)を有する者及び取得できる見込みの者

(3) 次の①又は②のいずれかに該当する者

①外国において、学校教育における 12年の課程を修了した者及び令和 9 年(2027年) 3 月 31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

②外国において、次のいずれかの資格を取得した者

- ・スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
- ・ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
- ・フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
- ・グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格
- ・欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格

(4) 国際交流基金と財団法人日本国際教育支援協会が運営する日本語能力試験「N 1」又は「N 2」認定者であること

4 選抜方法

書類審査、日本語での口頭試問及び面接の成績を総合的に判定して行います。

5 試験内容・配点

(1) 試験内容

日本語での口頭試問及び面接

口頭試問では、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B）及び理科（物理基礎）についての能力を評価し、面接では、論理的思考力、質疑応答の内容や態度等を総合的に評価します。

(2) 配点（単位：点）

書類審査	口頭試問及び面接	合 計
100	200	300

6 試験場

三条市立大学

VIII その他

1 障がい等のある出願者の受験上の配慮

障がいや持病、負傷等により、受験上の特別な措置又は修学上の特別な配慮を必要とする可能性のある入学志願者は、出願前にGeneral Affairs Unit 入試担当（電話 0256-47-5121）へ連絡し、申し出てください。申し出の期限については各募集要項で確認してください。

期限後であっても、不慮の事故や発病等により受験上の配慮が必要となった場合は、申し出てください。

2 入学検定料及び入学金・授業料等

（１）入学検定料

- ①総合型選抜以外のすべての選抜区分 17,000円
- ②総合型選抜 30,000円（入学検定料17,000円+諸経費13,000円）

（２）入学金

- ①三条市内者 141,000円
- ②三条市外者 282,000円

上記の「三条市内者」とは、入学者が次のいずれかの要件を満たす者をいいます。

- （ア）令和8年4月1日から引き続き三条市内に住民登録をされている者
- （イ）（ア）の要件を満たす配偶者又は1親等の親族を有している者
- （ウ）（ア）又は（イ）に掲げる者に準ずる者として学長が認める者

（３）授業料 535,800円

※在学中に授業料が改定になった場合は改定後の額となります。

（４）実習料 60,000円

※令和7年度入学者実績

3 高等教育の修学支援新制度

本学は、国の高等教育の修学支援新制度の対象校となっています。要件を満たした場合は、入学金及び授業料の減免と、給付型奨学金を併せて受けることができます。

詳細は、文部科学省又は独立行政法人日本学生支援機構のホームページを確認してください。

4 奨学金

(1) 本学独自の奨学金

本学には地元企業の善意による独自の給付型奨学金制度（返還不要）及び三条市による本学学生専用の給付型奨学金制度があります。

新入生対象者には以下の給付条件に沿って奨学金として年額48万円が給付されます。

（2年次以降は前年度の学業成績により選考します。）

対象	奨学金名	対象人数	給付条件
総合型選抜	高波龍風奨学金	4人	共通テストの成績上位
	高儀スカラシップ		
学校推薦型選抜	三条市諸橋徹次博士奨学金	2人	共通テストの成績上位
一般選抜 (前期日程、中期日程)	高波龍風奨学金	18人	一般選抜の成績上位
	高儀スカラシップ		
	三条市諸橋徹次博士奨学金		

※三条市諸橋徹次博士奨学金は、三条市に居住することが給付条件です。なお、本奨学金の内容は、事情により変更となる場合があります。

(2) 独立行政法人日本学生支援機構による奨学金

独立行政法人日本学生支援機構による貸与型奨学金（第一種奨学金〈無利子〉及び第二種奨学金〈有利子〉）の利用が可能です。内容や対象要件など詳細は、同機構のホームページを確認してください。

また、地方公共団体等や民間団体が実施する奨学金制度についても、要件を満たした場合には利用することが可能です。

5 学生募集要項等の公表時期及び請求方法

(1) 発表時期（予定）

時期（令和8年）	資料名	媒体
5月上旬	大学案内	冊子及びPDFデータ
7月上旬	入学者選抜要項（本冊子）	冊子及びPDFデータ
7月上旬	総合型選抜学生募集要項	PDFデータ
9月上旬	学校推薦型選抜・社会人選抜・私費外国人留学生募集要項	PDFデータ
10月上旬	一般選抜学生募集要項	PDFデータ

(2) 冊子の請求方法

本学ホームページ <http://admissions.sanjo-u.ac.jp>

本学ホームページから大学案内等の資料を請求できます。



IX 令和8年度入学者選抜結果

1 全体概況

令和8年4月1日現在

選抜区分		募集人員	出願者数	出願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数
総合型選抜		12人	36人	3.0	36人	3.0	10人	10人
学校推薦型	市内推薦	5人	2人	0.4	2人	0.4	1人	1人
	工業系推薦	3人	2人	0.7	2人	0.7	2人	2人
私費外国人留学生選抜		若干人	1人	—	1人	—	0人	0人
社会人選抜		若干人	—	—	—	—	—	—
一般選抜	前期日程	44人	122人	2.8	108人	2.5	57人	50人
	中期日程	16人	370人	23.1	142人	8.9	45人	17人

入学定員	出願者数		出願倍率	受験者数		受験倍率	合格者数		入学者数	
80人	533人		6.7	291人		3.6	115人		80人	
	現役	女子		現役	女子		現役	女子	現役	女子
	471人	66人		255人	41人		108人	17人	75人	11人

2 出身校等所在地都道府県別出願・合格・入学状況

都道府県	出願者数	合格者数	入学者数
北海道	15人	3人	1人
青森県	0人	0人	0人
岩手県	2人	1人	1人
宮城県	4人	1人	0人
秋田県	3人	0人	0人
山形県	5人	1人	0人
福島県	12人	3人	1人
茨城県	9人	1人	1人
栃木県	15人	5人	5人
群馬県	17人	2人	2人
埼玉県	9人	3人	1人
千葉県	0人	0人	0人
東京都	7人	3人	1人
神奈川県	2人	1人	1人
新潟県	212人	52人	47人
富山県	24人	3人	3人
石川県	21人	3人	3人
福井県	8人	1人	0人
山梨県	1人	0人	0人
長野県	22人	5人	4人
岐阜県	20人	4人	1人
静岡県	15人	0人	0人
愛知県	44人	10人	4人
三重県	10人	1人	0人

都道府県	出願者数	合格者数	入学者数
滋賀県	0人	0人	0人
京都府	13人	2人	0人
大阪府	13人	0人	0人
兵庫県	7人	1人	0人
奈良県	1人	0人	0人
和歌山県	4人	3人	0人
鳥取県	0人	0人	0人
島根県	0人	0人	0人
岡山県	3人	0人	0人
広島県	0人	0人	0人
山口県	1人	0人	0人
徳島県	5人	4人	3人
香川県	0人	0人	0人
愛媛県	0人	0人	0人
高知県	1人	0人	0人
福岡県	0人	0人	0人
佐賀県	1人	1人	0人
長崎県	1人	1人	1人
熊本県	1人	0人	0人
大分県	0人	0人	0人
宮崎県	0人	0人	0人
鹿児島県	0人	0人	0人
沖縄県	2人	0人	0人
高卒認定等	3人	0人	0人

3 合格者最高点・最低点・平均点（単位：点）

選抜区分		配点（満点）	合格最高点	合格最低点	合格者平均点
総合型選抜		200	181.0	160.0	170.4
学校推薦型選抜		300	208.8	174.7	196.4
私費外国人留学生選抜		300	—	—	—
社会人選抜		300	—	—	—
一般選抜	前期日程 A	700	448.8	292.0	361.8
	前期日程 B	700	491.4	300.0	376.5
	中期日程 A	700	587.0	417.0	452.1
	中期日程 B	700	571.0	412.2	483.4

X 令和8年度入学者一般選抜前期日程出題問題

中期日程出題問題及び解答例は、今後本学ホームページにて公開します。



1 数学

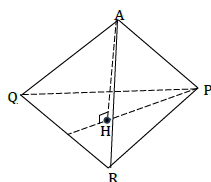
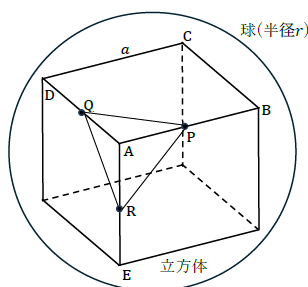
1

三角形ABCにおいて、辺AB = 6、AC = 5、 $\angle BAC = \theta$ とする($0^\circ < \theta < 180^\circ$)。点Dは辺BC上にあり、BD:DC = 1:2を満たす。このとき、以下の問いに答えよ。

- (1) $\theta = 60^\circ$ のとき、余弦定理を用いて辺 BC の長さを求めよ。
- (2) $\theta = 60^\circ$ のとき、三角形ABCの面積を求めよ。
- (3) $\theta = 60^\circ$ のとき、点Dが辺BC上にあり、BD:DC = 1:2を満たすとき、ベクトル $\overrightarrow{AB}$ と $\overrightarrow{AC}$ を用いて $\overrightarrow{AD}$ を表せ。
- (4) $\angle BAC = \theta$ のとき、三角形ABCの面積が $\frac{15}{4}$ となるような θ の値を求めよ。

3

図のように、半径 r の球に一边が長さ a の立方体が内接している。辺ABの中点をP、辺ADの中点をQ、辺AEの中点をRとする。また、三角錐APQRにおいて、頂点Aから三角形PQRに垂線AHを下ろす。このとき次の問いに答えよ。



- (1) 三角錐APQRの体積を、球1の半径 r を用いて示せ。
- (2) 三角錐APQRの表面積を、球1の半径 r を用いて示せ。
- (3) 辺AHの長さを、球1の半径 r を用いて示せ。

2

m も n も正の整数とし、また $0^0 = 1$ とする。以下のように定義された関数 $f_m(x)$ について、次の問いに答えよ。

$$f_m(x) = \int_0^m e^{-t} t^{x-1} dt$$

このとき、 $\lim_{m \rightarrow \infty} m^n e^{-m} = 0$ を使ってよい。

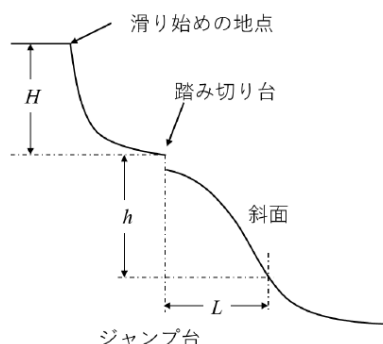
- (1) $f_m(1)$, $f_m(2)$, $f_m(3)$ のそれぞれの値を m で表せ。
- (2) 極限值 $\lim_{m \rightarrow \infty} f_m(1)$, $\lim_{m \rightarrow \infty} f_m(2)$, $\lim_{m \rightarrow \infty} f_m(3)$ をそれぞれ求めよ。
- (3) 極限值 $\lim_{m \rightarrow \infty} f_m(n)$ を n で表して、それを数学的帰納法によって証明せよ。

2 理科

1

図のように、スキージャンプの選手が、水平方向に初速 v_0 [m/s] の速さで踏み切り台から飛びだし、 t [s] 後に斜面に到達した。重力加速度の大きさを g [m/s²] として、以下の問いに答えよ。なお、本設問では空気抵抗を無視する。

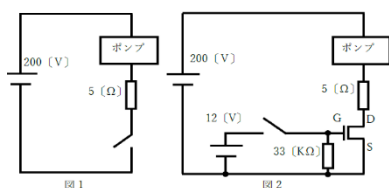
- (1) 斜面に到達した場所から見た踏み切り台の高さ h [m] と踏み切り台端面までの水平方向の距離 L [m] を求めよ。
- (2) 斜面に到達する直前の選手の鉛直下向きの速さ v_y [m/s] と水平方向の速さ v_x [m/s] を求めよ。
- (3) 斜面に到達する直前の選手の速さ V [m/s] を v_0 , g と h を用いて答えよ。
- (4) スキージャンプの選手は、静止している状態から静かに滑り始めて、踏み切り台に到達した。踏み切り台の位置を基準として、滑り始めの地点の高さ H [m] を v_0 と h を用いて表せ。なお、滑り始めの地点から踏み切り台までの摩擦は無視できる。



3

図1の回路は、直流電源、ポンプ、スイッチ、抵抗から構成される。図2の回路は、直流電源、ポンプ、スイッチ、抵抗、電界効果トランジスタ (FET) から構成される。以下の問いに答えよ。ただし、電源の内部抵抗は無視するとし、解答には単位を明示すること。

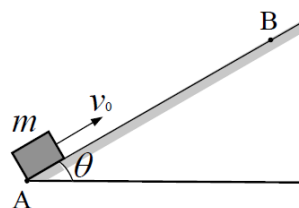
- (1) 図1のスイッチを閉じたとき、ポンプの電圧は180 [V] であった。抵抗に流れる電流を求めよ。
- (2) (1)において、抵抗が1.0分間に発生するジュール熱を求めよ。
- (3) 図1において、ポンプを交換し、電源電圧を100 [V] に変更した。スイッチを閉じたとき、ポンプの印加電圧は90 [V] であった。抵抗が1.0分間に発生するジュール熱を求めよ。
- (4) (1)において、ポンプが消費する電力のうち、60%が仕事に使用される。このポンプが1分間に汲み上げる水の質量を求めよ。ただし、汲み上げ高は2.5 [m]、重力加速度を9.8 [m/s²] とする。
- (5) 図1の回路のスイッチをFETに置き換え、図2の回路を構成した。スイッチを閉じるとポンプはどうなるか理由を付して答えよ。ただし、FETの端子は、ドレイン (D)、ソース (S)、ゲート (G) から構成され、ゲートは5 [V] で作動するものとする。



2

図のように、水平面と θ の角をなす傾斜斜面の下端の点 A に、質量 m [kg] の小さな物体を置き、この物体を初速度 v_0 [m/s] で斜面に沿ってまっすぐ上方へ打ち出したところ、物体は斜面上を直線運動し、点 B まで上昇して静止した。物体と斜面との間の動摩擦係数を μ' 、重力加速度の大きさを g [m/s²] として、以下の問いに答えよ。

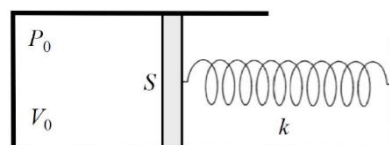
- (1) 物体が斜面上を運動しているとき、物体にはたらく動摩擦力の大きさを求めよ。
- (2) 物体の加速度を a [m/s²] とするとき、斜面に沿って上方に運動しているときの運動方程式を求めよ。ただし、斜面に沿って上向きを正とする。
- (3) 物体が点 A で打ち出されてから点 B で静止するまでに要する時間を求めよ。
- (4) AB 間の距離を求めよ。
- (5) 物体は点 B まで上昇した後、ただちに斜面をすべり下り、点 A までもどってきたとする。このとき、点 A にもどってきたときの物体の速さを求めよ。



4

図のように、シリンダー内に断面積 S [m²] のなめらかに動くピストンにばね定数 k [N/m] のばねが接続され、もう一端がシリンダーの壁に固定されている。はじめ、シリンダー内の気体の体積は V_0 [m³]、シリンダー内外の気体の圧力は P_0 [Pa] でばねは自然の長さになっている。次に、内部の気体に Q [J] 熱を加えたところ、ピストンが移動し、ばねが縮んだ。以下の問いに答えよ。

- (1) 自然の長さからのばねの縮みが x [m] のとき、気体の体積 V [m³] を x の関数として表せ。
- (2) 自然の長さからのばねの縮みが x [m] のとき、気体の圧力 P [Pa] を x の関数として表せ。
- (3) P [Pa] を V [m³] の関数として表せ。
- (4) ばねの縮みが l [m] となったところで加熱をやめ、ピストンをシリンダーに固定した。このとき、気体が外部にした仕事を求めよ。
- (5) はじめの状態から (4) への状態変化にともなう気体の内部エネルギーの増加量 [J] を求めよ。



アクセスマップ・問合せ先

◆ アクセスマップ



◆ お問い合わせ

公立大学法人 三条市立大学

General Affairs Unit (入試担当)

〒955-0091 新潟県三条市上須頃5002番地 5

Tel 0256-47-5121 Fax 0256-47-5512

<https://admissions.sanjo-u.ac.jp>

Mail nyushi@sanjo-u.ac.jp



《 三条市立大学へのアクセス 》

JR上越新幹線・JR弥彦線 燕三条駅（燕側出口）から
徒歩約14分

北陸自動車道 三条燕インターチェンジから車で8分